

稲光会報

第27巻33号

平成16年7月1日発行
 編集 早稲田大学稲光会
 発行者 北原輝久
 題字 滝口 宏
 印刷 (有)パイン



NPO法人 ワセダクラブが スタートしました

ワセダクラブがスタートしました。先般ご案内の通り、4月から毎週日曜日(午前10時～午後1時)にフエンスング道場でワセダクラブ・ジュニアフエンスング教室の練習が行われています。

これは、早稲田大学のスポーツ振興策の一環として設立されたNPO法人ワセダクラブの1デビジョンとして活動しているものです。現在会員



小中学生に指導を行う川名監督ほかOB

杉山文野 サーブルの 日本代表入り



4年度卒の杉山文野会員が女子サーブルで念願のナショナルチーム入りを果たしました。さる5月3日、東京・リバー

夏合宿は苗場山

サイド・スポーツセンターで開催された日本代表選手最終選考会女子サーブルの部で3位に入賞し、一種目4人枠の代表選手の仲間入りしたものです。

この種目はアテネ・オリンピックでは団体種目がないため、6月、ニューヨークで団体戦だけの世界選手権が行われますが、杉山会員はフランス、ドイツへの遠征と、その間、数次にわたる国内合宿をこなしてからニューヨーク入りする予定です。健闘を祈りましょう。

今年の夏合宿は苗場山です。左記要領で実施しますので会員各位は奮ってご参加下さい。

①期日 平成16年9月6日(月)～15日(水)

②場所 苗場山「和田ロッジ」
〒949-6211 新潟県南魚沼郡湯沢町三俣948-1
Tel 0257(88)9105
Fax 0257(88)9405

③連絡責任者 田島 和香
090-5286-7639
部室3203-8605

新人紹介

- ①学部 ②出身高校
- ③生年月日 ④主な成績
- ⑤一コマコメント



東 泰明
(ひがし やすあき)

①スポーツ科学部 ②群馬・沼田高校 ③85年8月2日
④03年高校総体サーブル7位
⑤04年JOC杯サーブル7位
⑥近い将来日本代表選手になりたい。



桑崎 純
(くわさき じゅん)

①教育学部 ②長崎南高校
③83年4月14日 ④02年県大会フルーレ3位 ⑤先輩方へ早く追いつき、試合で活躍したい。



長 美沙子
(ちよう みさこ)

①スポーツ科学部 ②大分豊府高校 ③85年8月25日 ④03年JOCカデ・サーブル3位 世界大会出場 03年全国高校選抜3位(団体)
⑤一日も早く先輩方に追いつきたいです。



松本 瞳
(まつき ひとみ)

①スポーツ科学部 ②大分情報科学高校 ③85年7月25日 ④02年JOC杯カデ・サーブル2位 世界大会出場 03年高校総体フルーレ2位(個人) ⑤女子は長さんと2人だけですが、9月の新人戦は個人、団体とも優勝したいです。

男子サーブル 1部復帰! 男女6種目全 て1部リーグ は早大のみ!

男子サーブル復帰で男女6種目が全て1部ノ平成16年度関東学生リーグ戦が4月18日(日)～5月10日(月)まで中大体育館、駒沢公園屋内球技場等で行われ、2部優勝した男子サーブルが東京農大との入替戦(5月23日、東農大)に快勝、16年ぶりの1部復帰を果たしました。これでわが部は初めて男女6種目が全て1部リーグに勢揃いしたわけですが、これは同時に、関東学連では早稲田大学ただ1校のみという快挙につながりました。(関連記事2～3面に)



歓喜！ 大隅講堂をバックに部員一同「バンザイ！」



殊勲のサーブル四剣士
左から、東 康明
前田 智之
星野 聡
増田 誠治

入替戦

リーグ優勝をかけた拓大との一戦に快勝し、大いに意気上がるサーブル陣。入替戦に臨んでも自信は揺らぎませんでした。1部最下位の東京農大との緒戦、1年生ながら図太い試合度胸を見せる東(沼田高)が3-5とまずまずのスタート。続く2番手は今やサーブル陣の中心選手に成長した2年生増田(東亜学園高)。卓越したフットワークと駆け引きで10-8とアッサリ逆転し、その後も中盤戦まで一進一退

の展開でした。ここで差をつけたのがベンチの大声援。10人を越す若手OBと男女部員全員が1ポイントごとに割れんばかりの歓声をあげて選手を励まし、選手もこれに応えて踏ん張りました。最後の1巡は3年生前田(柏陵高)が5-1、東が5-2と東京農大を圧倒。40-32の大差で最終戦を迎えたのです。ここまでくればいかにサーブルといえども逆転は不可能。耳を圧するような大声援を背にラスト増田の登場です。やや勝ちを焦った感のある滑り出しでしたが、押さえるところはキチッと押さえて5-5で締めく

くったのでした。地元であるはずの東京農大側を遙かに上回る応援が選手の追い風となり、異様な盛り上がりの中でつかみ取った16年ぶりの1部の座といつてよいでしょう。早稲田の応援は怖かった。試合後、耳にした東京農大OBのつぶやきが強く印象に残っています。

リーグ戦

「入替戦を免れない」と言うのが男子フルーレの本音でした。が、いざフタを空けてみると、4戦目の中大に快勝と言う好結果がでたのです。この試合、3番手の3年生西村(和歌山北高)が8-2と大勝して逆転。直後に中大にリードを許したものの、最後の1巡で西村が再度6-3として再逆転。4年生渡部(検見川高)、3年生前田(柏陵高)が手堅く5本ずつとって締めくくったのでした。

女子は2-3年生中心のメンバーながら、いずれも高校時代のトップクラス揃い。波に乗れば優勝もと言う期待感に満ちたスタートでした。しかしいけません。波に乗れないのです。ばかりか、リードされると不安感に支配されて動作が単調になり、距離、タイミングも不十分のまま突きに行つて自滅すると言う繰り返し。実力の半分も出せずにずると敗戦の淵に落ち込んでしまいました。強い精神力を持つように指導する必要があると痛感した次第です。



男子はフルーレ5位だったもの中大(2位)に快勝、エペも東京農大、拓大に危なげなく勝って4位と、共に1部の座をガッチリとキープ。それに反し優勝候補の一角に挙げられていた女子は3種目とも本来の実力が発揮できず、5位(フルーレ)、3位(エペ)、5位(サーブル)という結果に終わりました。総括すれば、サーブルの1部復帰も含め「男子健闘女子不振」のリーグ戦だったといえます。

監督・川名宏美

●2004年度関東学生リーグ戦 日時 4/18~4/23、5/7、5/10 場所:駒沢屋内球技場ほか

男子フルーレ(1部) 専修 V45-D36 早稲田 日体 V45-D22 早稲田 法政 V45-D23 早稲田 中大 D40-V45 早稲田 早稲田 V45-D25 拓大	男子エペ(1部) 法政 V30-D29 早稲田 早稲田 V45-D35 東農 専大 V45-D34 早稲田 早稲田 V45-D33 拓大 中大 V45-D41 早稲田	男子サーブル(2部) 早稲田 V45-D21 防大 早稲田 V45-D24 明治 早稲田 V45-D32 國學院 早稲田 V45-D32 立教 拓殖 D38-V45 早稲田	<結果> 男子フルーレ 1部 5位 男子エペ 1部 4位 男子サーブル 2部 優勝
女子フルーレ(1部) 専修 V45-D39 早稲田 東女体 V45-D35 早稲田 日体 V45-D29 早稲田 中大 D33-V45 早稲田 早稲田 V45-D33 日大	女子エペ(1部) 早稲田 V39-D37 日女体 日体 V20-D19 早稲田 早稲田 V45-D29 日大 中大 D31-V45 早稲田 早稲田 D31-V45 東女体	女子サーブル(1部) 専修 D40-V45 早稲田 日体 V45-D43 早稲田 東女体 V45-D41 早稲田 日大 V45-D31 早稲田 日女体 D37-V45 早稲田	<結果> 女子フルーレ 1部 5位 女子エペ 1部 3位 女子サーブル 1部 5位

●入れ替え戦 日時 5/23 場所 東京農業大学体育館

男子サーブル
東農 D37-V45 早稲田
1部昇格